

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)：岡山県真庭市

概要

9町村が合併した真庭市では、旧町村毎に相違する自治体バス、福祉バスを統合しコミュニティバス「まにわくん」として再編したが、民間バス事業者の撤退による代替輸送などにより自治体の財政負担が増大している。今後もバス路線の廃止が想定される中、極めて利用者の少ない路線も多く、自治体のみによる公共交通の確保に限界がきていることから、市民の合意によるシビルミニマムを策定し、自治体バスの再編や新たな運行形態導入などにより域内交通体系の構築を目指し調査・検討を実施する。

○地域公共交通の概要

- ・中鉄バス(株) 岡山～蒜山、勝山～蒜山等10系統
- ・備北バス(株) 高梁～落合等6系統
- ・コミュニティバス「まにわくん」 34ルート
- ・自治体共同バス 旭川さくらバス、あおぞらバス

○地域公共交通の課題

- ・旧町村時代の自治体バス等を基本的に引き継ぎ、併せて19年10月の民間バス事業者の撤退(6路線12系統)を代替したコミュニティバス「まにわくん」の効率的な路線への再編
- ・増大する交通関係予算の抑制

○調査事業の主な内容

- ・公共交通サービス水準(シビルミニマム)の検討
- ・コミバス運行計画の見直し及び新たな運行形態の検討
- ・地域主導型運営の導入可能性の検討

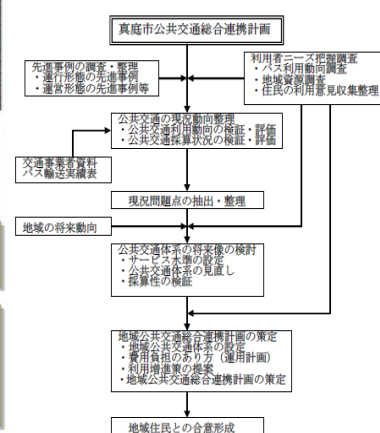
○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・市民にとって公平な公共交通サービス水準の設定及び合意形成
- ・路線バスの撤退も視野に入れたコミュニティバス「まにわくん」の再編など
- ・持続可能な公共交通を維持するための方策(利用増進策、利用者・行政・交通事業者が一体となった費用負担のあり方、地域資源活用のあり方など)

真庭市コミュニティバス路線図



調査検討フロー



34路線の「まにわくん」を核とし、新たな運行形態も検討の上、域内交通の再編を図る

